

第1学年 前期中間テスト (理科)

令和5年6月20日 (火)

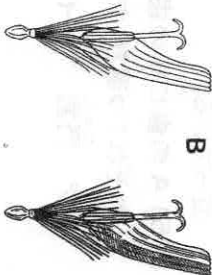
1年 組 番 氏名

(注意)

- ・漢字がわからない問題は、ひらがなでも可とします。
- ・「記号で答えなさい」と書いてある問題は、必ず指定された記号で書いてください。
- ・(完全正答)とあるものは、すべて合っていて正解となります。

1 ルーペを使って、タンポポの花を観察した。次の問いに答えなさい。

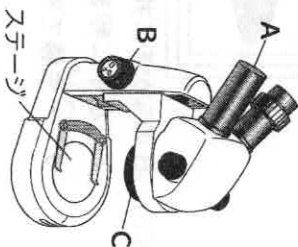
- (1) ルーペで太陽や強い光は見えてはいけません。その理由を簡潔に答えなさい。
- (2) 右の図は、タンポポの花のスケッチである。スケッチのしかたでよい A のは、A・B のどちらですか。
- (3) 正しいスケッチのしかたを、次のア〜カからすべて選び、記号で答えなさい。(完全正答)
 - ア 細い線でかく。 イ 太い線でかく。 ウ 影をつける。
 - エ 影をつけない。 オ 見えるものを全てかく。 カ 目的とするものだけをかく。
- (4) スケッチによる記録のよいところを述べた次の文で、正しいものをア〜ウから選びなさい。
 - ア 立体的に記録できる。 イ 周りの風景や環境も簡単に記録できる。
 - ウ 特徴がはっきりと表せる。



2 双眼実体顕微鏡の使い方について、次の問いに答えなさい。

- (1) 右の図の A、C の部分をそれぞれ何といいますか。
- (2) 白っぽいものを観察するとき、ステージの色は白色と黒色のどちらを使うとよいですか。
- (3) 次の文の空欄にあてはまる言葉を書きなさい。

双眼実体顕微鏡を用いると、ものを拡大して 的に観察することができる。



3 下の表について、次の問いに答えなさい。

	A	B
C 大きさが 20 cm 以上	カラス, ハト, チューリップ	ミシジクピアカミミガメ, スイレン
D 大きさが 20 cm 未満	ダンゴムシ, モンシロチョウ, スズメ, オオイヌノコグリ	サワガニ, メダカ

- (1) A、B は、生物が生息している環境が「陸上」「水中」かによって分類したものです。A、B にそれぞれ「陸上」と「水中」のどちらが当てはまりますか。(完全正答)
- (2) 次の①、②の生物は表のどこに当てはまりますか。「A の C」のように答えなさい。
 - ① アサリ
 - ② サクラ
- (3) 表中の生物を「動くもの」と「動かないもの」に分類する場合、「動かないもの」に分類される生物をすべて書きなさい。(完全正答)

(4) 共通した特徴にもとづいて、右の6つの生物をグループに分けます。

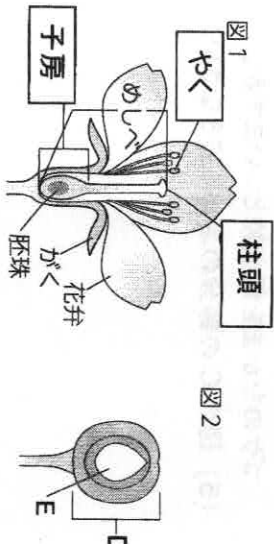
6つの生物を「移動する」と「移動しない」という基準で分けるとき、「移動しない」グループに入る生物をすべて書きなさい。

(完全正答)

- (5) 6つの生物を生活場所という観点で「陸上」「水中」に分けると、「水中」で生活するグループに入る生物をすべて書きなさい。(完全正答)

カラス タンポポ
コナ スギナ
メダカ イルカ

4 右の図1は、サクラの花のつくりを、図2は花が成長したものをそれぞれ表しています。また、下の表はある2種類の植物 A、B の葉、子葉、根のようすをそれぞれ調べ、模式的に表したものです。次の問いに答えなさい。



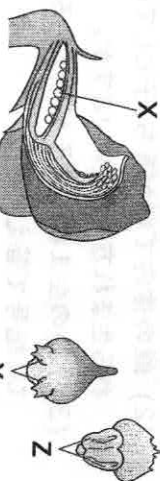
- (1) 花粉ができるのは、図1の中のどのつくりですか。
- (2) 花粉がめしべの柱頭つくことを何といいますか。
- (3) 子房は成長すると D、E のどちらになりますか。記号で答えなさい。
- (4) サクラのように、胚珠が子房の中にある植物を何といいますか。
- (5) 下の表の A、B の植物は、それぞれ何類に分類することができますか。

	葉	子葉	根
A			
B			

(6) A、B のような葉脈の通り方をそれぞれ何といいますか。

5 図1はエンボウの花のつくりを、図2はワツの花のりん片をそれぞれ表したものです。次の問いに答えなさい。

図1 エンボウ 図2 ワツ



- (1) エンボウもワツも、種子をつくってなかまを増やします。このような植物を何といいますか。
- (2) エンボウの花にも、ワツの花にもどちらにもあるものを、次のア〜ウから1つ選びなさい。
 - ア 花弁 イ がく ウ 花粉
- (3) エンボウの花の X の部分は、ワツの花の Y・Z のどちらの部分にあたりますか。
- (4) ワツのなかまに分けられるものを、ア〜エから1つ選び、記号で答えなさい。
 - ア ツツジ イ スギ ウ サクラ エ トウモロコシ
- (5) ワツの胚珠のつくりは、エンボウの胚珠のつくりと比べてどのような特徴がありますか。エンボウの胚珠のつくりのことも書いて、説明してください。

6 右の図1は、イヌワラビの体のつくりを表しています。次の問いに答えなさい。

(1) イヌワラビのなかまは何植物といますか。

(2) イヌワラビの茎は、図1のa～dのどこですか。記号で答えなさい。

(3) aの裏には、右の図2のようなつくりがあった。図2のXを何といますか。

(4) 右の図3はゼニゴケの体のつくりを表しています。ゼニゴケのなかまは何植物といますか。

(5) 図のCの部分の名称を書きなさい。

図1

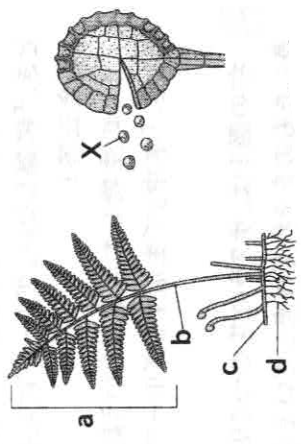


図2

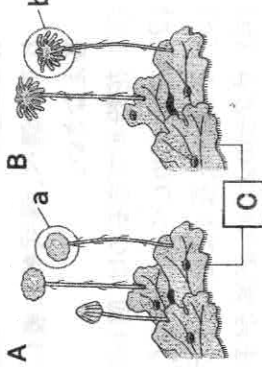
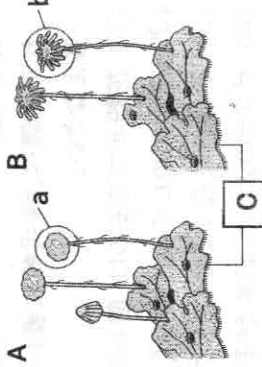


図3



7 右の図は、植物をいろいろな特徴に注目して分類したものです。次の問いに答えなさい。

(1) 図のA～Cにあてはまる観点を、次のア～ウからそれぞれ1つずつ選びなさい。

ア 子葉が1枚か2枚か。

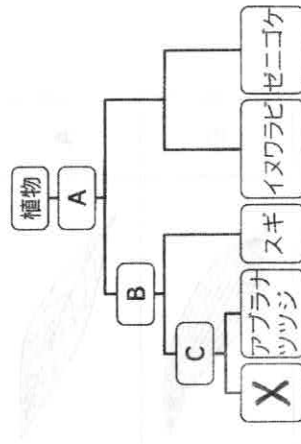
イ 種子をつくるかつからないか。

ウ 胚珠がむき出しか子房の中にあるか。

(2) Xにあてはまる植物を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア タンポポ イ バラ ウ ユリ エ アジサイ

(3) Xにあてはまる植物の根のようすはどのようなになっているか書きなさい。



8 右の5種類の動物について、次の問いに答えなさい。

(1) 右のA～Eの動物に共通する体のつくりの特徴は何ですか。

(2) 雌の体内で卵が育ち、子としての体ができから生まれる生まれ方を何といますか。

(3) (2)の生まれ方で子が生まれる動物を、A～Eから選び、記号で答えなさい。

(4) 一生えらで呼吸する動物を、A～Eから選び、記号で答えなさい。

(5) 脊椎動物を5つのグループに分けたとき、Eと同じグループになる動物を、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア ヘビ イ サル ウ カエル エ ペンギン



9 右の図は、シマウマとライオンの目のつき方と歯の形を表したものです。次の問いに答えなさい。

(1) シマウマなどのように、おもに植物を食べる動物を何といますか。

(2) ライオンなどのように、おもに他の動物をとらえて食物とする動物を何といますか。

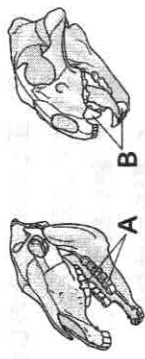
(3) シマウマの目は側方についています。これはどのようなことに役立っていますか。「広い範囲」という言葉を使って書きなさい。

(4) ライオンの目は前方についています。このことについて、次の()にあてはまる言葉を書きなさい。

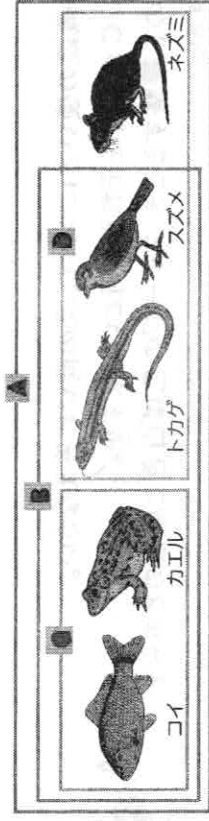
ライオンの目のつき方は、獲物となる他の動物との()をはかりながら追いかけるのに役立っている。

(5) Aの歯とBの歯はそれぞれ何という名前ですか。次のア～オからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

ア 門歯 イ 犬歯 ウ 奥歯 エ 前歯 オ 臼歯



10 次の図は、5種類の動物を、いろいろな特徴によってなま分けしたものです。次の問いに答えなさい。



(1) Bのなかまに共通する特徴は次のア～エのどれですか。記号で答えなさい。

ア 水中に卵を産む。 イ 陸上に卵を産む。

ウ 一生肺で呼吸する。 エ 卵生である。

(2) Dのなかまに共通する特徴は次のア～エのどれですか。記号で答えなさい。

ア 水中に卵を産む。 イ 陸上に卵を産む。

ウ 一生肺で呼吸する。 エ 卵生である。

(3) 体が羽毛で覆われている動物を、上の図から選んで名前を答えなさい。

11

次の文章を読んで、感想や疑問などを書いてみましょう。

※テストの点数にはなりません。が、主体的に学習に取り組む態度として、こちらも評価に入れています。

～コケが生きる場所～

コケにとって生活しやすい場所というと、多くの人は暗くじめじめしている場所を考えるかもしれません。

林の中で考えてみましょう。積もっている落ち葉をかき分け、その下のジメジメとしたところにコケを探しても全く見あたりません。それは、体が小さなコケは落ち葉の下になってしまおうと暗すぎて、光を使ってデンプンなどの養分がつかれないからです。そこで林の中をよく調べると、体を根のようなもので支えて倒木や木の幹などについているコケを見つけることができます。そこは、落ち葉が積もらず光がよく当たりますが、土がなく他の植物が根を張れないため、体の小さなコケでも生き残りやすいのです。

建物のまわりではどうか。北側のジメジメしたところでは、たくさんコケを見ることができません。しかし、日のよく当たる建物の南側や屋上の隅でも、コンクリートのすき間などにスギコケのなかまを見つけることができます。そこは晴れた日などは、光の直接当たる乾燥した場所です。どうして水分が少ないこのような環境でも、コケは生きていけるのでしょうか。

～乾燥に耐えるコケ～

ゼニゴケを除くほとんどのコケは、体内の水分を保つしくみがありません。天気の良い日か何日が続くと、体はカラカラに乾いてしまします。他の植物だったら枯れてしましますが、コケは休眠状態に入り乾燥に耐えるのです。そして雨が降れば体全体で水分を吸収して再び活動します。コケは、乾燥してもなかなか死なないという特徴によって生き続けているのです。よって、他の植物にとって生活しにくい極寒の南極や、北極に近い地域でも、その地に特有のコケがたくさん見られます。

テストおつかれさまでした！

解答欄のズレや、漢字の間違い、記号で答える問題は記号で答えるなど、できているでしょうか？
時間をめいっばい使って見直しをし、高得点を目指しましょう！

